

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804229

案件番号 :1884426

主分野課題 :保健医療/その他感染症

副分野課題 :

使用言語 :英語

案件概要

本邦トップレファレンスラボにおいて、HIV感染・エイズ含む各種ウイルス感染症の診断とモニタリングに必要な基礎知識の講義とともに、検査技術のみならず検査室の整備状況・精度管理、データ管理など、ラボ全体の管理体制の向上を目標とする実習を行う。加えて、感染症対策におけるサーベイランスシステムに係る中央と地方との役割・連携を理解するための視察、振り返りとディスカッションを実施する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

本邦研修で習得したHIV感染・エイズ含む各種ウイルス感染症の診断とモニタリングに必要な理論的背景、知識、それらの検査技術、またデータ管理やラボの管理体制、ラボ内外の連携強化による有効なサーベイランスシステムの在り方について、所属機関において、知識・技術の普及が図られる。

【対象組織】

各種ウイルス感染症の検査・診断を実施するナショナルレファレンスラボ及びそれに準じる組織、及び、感染症サーベイランスを実施する組織

【成果】

1. 各種ウイルス感染症についての基礎知識を理解し説明ができる。
2. 基本的血清学的診断法とクオリティーコントロールについて説明ができ、関連実験技術を推進できる。
3. 分子生物学の基礎知識を習得し、PCR (Polymerase Chain Reaction) 技術の理論的背景、PCRを用いた各種ウイルス感染症の診断法の説明ができ、関連実験技術を遂行できる。
4. 各種ウイルス感染症のモニタリング法の説明ができ、関連実験技術を遂行できる。
5. ラボのマネジメント能力を強化し、内部精度管理の強化、日常業務の改善を図る。
6. 感染症サーベイランスにおける検査室の役割を理解し、中央検査室と地方検査室の連携について理解を深める。
7. 習得した知識・技術を所属組織に還元する。

【対象人材】

<職務経験>
 検査室でのウイルス性または細菌性感染症の診断もしくは感染症疾患のサーベイランスに4年から10年の経験を有する者
 <学業経験>
 大学の臨床検査学、薬理学、医学を修了した者、または同等の学歴を有する者

内容

1. 講義及びディスカッション：ウイルス学、各種ウイルス感染症例のケアと治療、日本における感染症サーベイランスシステム、抗レトロウイルス療法等ウイルス感染症の治療、各種ウイルス感染症病態、バイオセーフティ、5SカイゼンTQMステップを含むウイルスラボマネジメント、データ管理、クオリティーコントロール、各種ウイルス感染症診断、PCR、輸血の安全性とスクリーニング、DNA配列決定、免疫学、各種ウイルス感染症のワクチン、各種ウイルス分子疫学、薬剤耐性。
2. 実習：実験室・BSCの使用法、各種ウイルス感染血清診断、DNA-PCR、定量PCR、RT-PCR、DNA配列決定、CD4カウント、PCRワークショップ。
3. 見学：臨床検査実施メーカーにて標準検査技術視察。献血センターにおけるスクリーニングシステム視察。地方公衆衛生研究所視察。
4. その他：カンントリーレポート発表、意見交換。研修成果をふまえた課題解決のためのディスカッション、アクションプラン作成、発表。

本邦研修期間

2018/5～2018/7

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA東京（人間開発）

関係省庁

厚生労働省

実施年度

2017～2019

主要協力機関

国立感染症研究所

**特記事項
及び
ホームページ**

参加の要件：研修に必要な英語力、PCスキルを有する。